



TITLE:

## あとがき・目次

AUTHOR(S):

---

CITATION:

あとがき・目次. キリスト教学研究室紀要 2015, 3: 109

ISSUE DATE:

2015-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/197481>

RIGHT:

## あとがき

『キリスト教学研究室紀要』第三号をお送りいたします。京都大学キリスト教学専修（研究室）刊行の「研究室紀要」も、2013年度の創刊から、今回で第三号を迎えました。紀要の第三号を無事に刊行することができたことについて、執筆者、そして編集担当者に心から感謝を申し上げたい。

キリスト教学研究室は、多様な研究テーマと取り組む教員と大学院生から構成された一つの研究共同体として運営されているが、特に、大学院生の研究発表を中心に行われる「第二演習」紀要は研究室の共同研究の中心的な場となっている。紀要はこうした研究室の活動を年度単位における研究成果としてまとめたものであり、ここにキリスト教学研究室の一年の歩みを辿ることができる。本号収録の「2014年度・第二演習の記録」に記載の大学院生の研究には、日本基督教学会や日本宗教学会などの諸学会の学術大会における研究発表や雑誌論文に結実したものが多く含まれているが、さまざまな事情から学会誌などにおける掲載には至らなかったものにも、論文としてまとめるに値するものが少なくない。こうした研究発表に発表の場を与えることが紀要刊行の目的の一つに他ならない。

大学を中心とした学問の現場では、成果主義が蔓延し、その弊害についてはすでに多くの指摘がなされている。研究発表や論文におけるデータ捏造や使い回し、そして盗作は、生命科学などの最先端研究分野だけでなく、多くの学的分野における学位論文から学生レポートにまで広がっており、深刻な状況と言える。研究者倫理が叫ばれるのも当然であろう。しかし、これから研究職を目指そうとする大学院生など若手研究者にとって、この成果主義の現実を完全に無視することはきわめて困難であり、論文発表の場を確保することは切実な問題となっている。紀要という形において、研究室の研究活動を記録することは、研究共同体としてのキリスト教学研究室の発展にとって重要な意味をもつことは言うまでもないが、同時に、本紀要が大学院生に論文執筆の機会を与えることを目的としていることは、以上の若手研究者を取り巻く状況と無関係ではない。

本紀要の充実には、査読体制の確立など課題も少なくないが、当面は、大学院生の研究論文、研究ノート、書評に加え、教員（常勤と非常勤）による研究論文を掲載することによって、研究論集としての十分な水準が確保されることを期待している。

なお、本紀要は、研究室のホームページ、あるいは京都大学学術情報リポジトリにおける公開を中心としており、基本的には電子ジャーナルとして企画されている。一定部数の印刷製本も行われるが、それは必要最小限のものとなる。電子ジャーナルとすることによって、キリスト教学研究室の研究活動が研究室外の方々に広く知っていただけるならば、幸いである。

2014年3月

キリスト教学専修・教授  
芦名定道

# キリスト教学研究室紀要

## 第 3 号

---

### —論文—

キリスト教思想と宗教言語—象徴・隠喩・テキスト— 芦名 定道 (1)

力のない言葉：アウグスティヌス『教師論』における意味理論 須藤 英幸 (19)

キリスト教の神の日本語訳「神」 —「用語問題」との関連で— 金 香花 (35)

日清・日露戦争時期(1894-1905)における韓国キリスト教の日本認識 洪 伊杓 (57)

リューサーのフェミニズム神学による終末論批判 張 旋 (67)

### —研究ノート—

「伝道の神学」における「キリスト教と諸宗教」の問題  
——フライタークの救済史的伝道理解から—— 南 裕貴子 (79)

### —研究動向—

Yearbookで見るキルケゴール研究の動向 谷塚 巖 (99)

あ と が き (109)

---

2015年3月

京都大学キリスト教学研究室

# The Annual Report on Christian Studies

## III

### CONTENTS

#### Articles

Christian Thought and Religious Language. Symbol, Metaphor and Text.

ASHINA Sadamichi (1)

Powerless Words: The Theory of Meaning in Augustine's *De Magistro*

SUDO Hideyuki (19)

God in Japanese “kami” —in connection with the Term Question—

JIN Xianghua (35)

A Review on the idea of ‘Japan’ in the Korean church during the Sino-Japanese War and Russo-Japanese War(1894-1905)

HONG Yi Pyo (57)

Critique of Eschatology, according to Feminist Theology of Rosemary Radford Ruether

ZHANG Xuan (67)

#### Notes

The Problem of "Christianity and Religions" in "Theology of Mission": Through Walter Freytag's Salvation History Understanding of Mission

MINAMI Yukiko (79)

#### Research Trend

Report on Kierkegaard Research Trend - By Glancing at *Kierkegaard Studies Yearbook 1996 - 2014*

TANIZUKA Iwao (99)

#### Postscript

(109)

March, 2015

Faculty of Letters, Kyoto University, Department of Christian Studies

Kyoto Japan